

SimDiff 4 を Git と統合するには

目次

はじめに	2
Git における差分およびマージツール.....	2
設定について.....	3
Windows コマンドプロンプトから SimDiff 4 を差分ツールとして設定する	3
Windows コマンドプロンプトから SimDiff 4 をマージツールとして設定する	3
Git クライアント (Git Bash など) から SimDiff 4 を差分ツールとして設定する.....	3
Git クライアント (Git Bash など) から SimDiff 4 をマージツールとして設定する.....	4

はじめに

Git は、バージョン管理システムとして開発されました。Git では主要インターフェースとして、git commit や git push などのコマンドラインを使用します。しかし、コマンドラインに対応する多数の GUI ツールが開発されているため、便利なインターフェースから、リポジトリでの作業を実行することも可能です。差分やマージツールに対応しているインターフェースもありますが、未対応のものも存在します。

あらゆる Git GUI ツールが多数存在するため、ここではコマンドラインの Git インターフェースを使用して、SimDiff 4 を設定する場合の操作手順について説明します。なお、ご使用の GUI ツールとの統合に必要な設定の手順については、当該 GUI ツールのマニュアルをご参照ください。

Git における差分およびマージツール

Git では、外部差分またはマージの統合に関して、ツールとドライバ、2 種類のカテゴリを設定できます。差分またはマージドライバは、下位の非対話型の統合を実行する場合に使用します。この種類の統合は、SimDiff 4 などの対話型ツールには適していません。つまり、SimDiff 4 は、差分およびマージツールとして設定する必要があります。

設定処理を実行しておく、Git から git difftool および git mergetool コマンドを使用して、SimDiff 4 が起動します。以下の例をご覧ください。

SimDiff を使用して、my_model.mdl のワーキングコピーとリポジトリのファイルを比較する場合。

```
git difftool -t simdiff4 my_model.mdl
```

SimMerge を使用して、my_model.mdl の 2 種類のリポジトリファイルを比較する場合。

```
git difftool -t simdiff4 <commit1> <commit2> my_model.mdl
```

ブランチをマージした後、モデルファイル、my_model.mdl 内にあるマージの競合を解消する場合。

```
git mergetool -t simdiff4 my_model.mdl
```

設定について

Git で使用する差分およびマージツールとして、SimDiff 4 を設定することが可能です。なお、両方のツールを同時に設定することも可能です。以下の設定コマンドに関する説明では、SimDiff 4 がデフォルトのインストール先に保存されていることを前提としています。別のフォルダにインストールされている場合には、必要に応じてコマンドを変更してください。

設定処理を実行する場合、git config コマンドを使用する (推奨) 方法と、該当する設定ファイルを探してテキストエディタから直接入力する方法があります。なお、設定ファイルの保存先は、`--file` フラグによって3カ所存在します。

- [なし] - リポジトリに設定が保存されています。ファイルフラグが指定されていない場合のデフォルトです。リポジトリのクローンを所有する、全てのマシンに SimDiff 4 がインストールされるため、このオプションは推奨しておりません。
- `--global` - ユーザのホームディレクトリに、設定ファイルが保存されています。SimDiff 4 with Git で SimDiff 4 を使用するユーザが他にいない場合、または管理者権限がない場合には、このオプションを使用してください。
- `--system` - Git のインストール先に設定ファイルが保存されています。このオプションは、マシン上の全てのユーザに対して、SimDiff 4 を差分/マージツールとして設定する場合に使用してください。なお、このオプションを推奨しますが、管理者権限が必要です。

Windows コマンドプロンプトから SimDiff 4 を差分ツールとして設定する

使用するコマンドは、以下の通りです。

```
git config --system difftool.simdiff4.cmd
  "\"C:/Program Files/EnSoft/SimDiff 4/simdiff4.exe\"
  -l \"%LOCAL\" -r \"%REMOTE\"
```

Windows コマンドプロンプトから SimDiff 4 をマージツールとして設定する

使用するコマンドは、以下の通りです。

```
git config --system mergetool.simdiff4.cmd
  "\"c:/Program Files/EnSoft/SimDiff 4/simdiff4.exe\"
  -merge -b \"%BASE\" -l \"%LOCAL\" -r \"%REMOTE\" -o
  \"%MERGED\"
```

Git クライアント (Git Bash など) から SimDiff 4 を差分ツールとして設定する

使用するコマンドは、以下の通りです。

```
git config --system difftool.simdiff4.cmd 'c:/Program
  Files/EnSoft/SimDiff 4/simdiff4.exe' -l "$LOCAL"
  -r "$REMOTE"
```

Git クライアント (Git Bash など) から SimDiff 4 をマージツールとして設定する

使用するコマンドは、以下の通りです。

```
git config --system mergetool.simdiff4.cmd '"c:/Program
Files/EnSoft/SimDiff 4/simdiff4.exe" -merge -b "$BASE"
-l "$LOCAL" -r "$REMOTE" -o "$MERGED"'
```